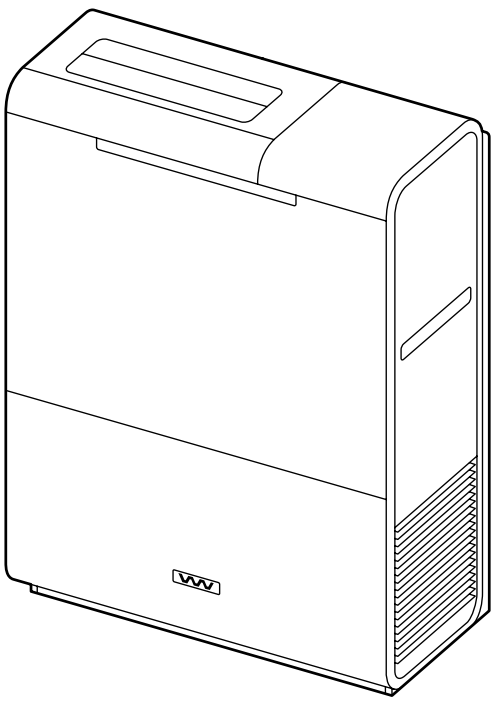
SANYO

空間清浄システム
VW-SF10C

取扱説明書

このたびは空間清浄システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
特に「安全のため必ずお守りください」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに保証書とともに大切に保管してください。



もくじ

安全のため必ずお守りください ……1
特長 ……3
各部のなまえとはたらき ……3
ご使用上の注意点 ……6
使う前の準備 ……7
運転のしかた ……8
お手入れのしかた ……12
保管 ……13
水抜き／乾燥の手順 ……14
故障かな？と思ったら ……15
保証とアフターサービスについて ……16
仕様 ……17

ご使用上の注意

1. 本製品は空間清浄システムであり、薬事法で定める医療機器ではありません。空気中に浮遊するウイルスを抑制する機能はありますが、ウイルスによる感染を防止したり治療するものではありません。
2. ウイルスの抑制・除菌・脱臭の効果を持続させるためには、定期的なメンテナンス、部品交換が必要です。当社のサービスエンジニアによる定期的なメンテナンスを必ずお受けください。メンテナンス契約（有料）のご相談については、当社サービス拠点（別紙）またはカスタマセンター商品相談窓口（下記フリーダイヤル）へお願いいたします。
3. 本製品は、ご使用条件に合った電解条件設定が必要です。取扱説明書に「使う前の準備」が記載されていますので、よくお読みいただき正しくお使いください。正しく使用されない場合、カビ、雑菌、悪臭が発生することがあります。
   尚、負荷が高い場合は、電解条件設定の調整が必要となります。電解設定は試運転時サービスエンジニアが行います。
   ※負荷の高い場所の例：喫煙室等
4. ご安心してお使いいただけるよう、試運転と初回点検を実施いたします。ご不明な点がありましたら当社サービス拠点（別紙）またはカスタマセンター商品相談窓口（下記フリーダイヤル）へお問合せください。
5. 本製品はサービスエンジニアによる試運転を行わないと運転することはできません。

カスタマセンター商品相談窓口　0120-710934
（24時間365日受付）

安全のため必ずお守りください

正しく安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、人が軽傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

「禁止」を表します。	「必ず実施」を表します。	「分解禁止」を表します。	「接触禁止」を表します。
「電源プラグを抜く」を表します。	「感電に注意」を表します。（本体に表示）	「水ぬれ禁止」を表します。	

⚠ 警　告

分解修理・改造の禁止

分解修理・改造はしないでください。
火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買いあげの販売店、またはもよりの「お客様ご相談窓口」（表紙）にご相談ください。

分解禁止

水をかけない

本体を水につけたり、本体に水をかけたりしないでください。
ショート・感電のおそれがあります。

水ぬれ禁止

異物を入れない

吹出口や吸込口、給排水一体タンクおよび設置部にピンや針金などの金属や異物を入れないでください。
感電や異常動作でけがをすることがあります。

禁　止

お手入れのときは電源プラグを抜く

お手入れのときは、必ず電源プラグを抜いてください。
感電・けがの原因になります。

電源プラグを抜く

電源コードをいためない

電源コードを傷つける、破損する、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじることなどはしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁　止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

禁　止

交流100V以外での使用やタコ足配線をしない

火災・感電・故障の原因になります。

禁　止

給排水一体タンク、塩水タンク本体、フィルターのお手入れには塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しない

変形や変色することがあります。

禁　止

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だったり、いたんだプラグを使用しないでください。また、ゆるんだコンセントに接続しないでください。
感電や発熱による火災の原因になります。

実　施

電源プラグのほこりを取る

定期的に電源プラグのほこりを取ってください。
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

実　施

ろう電ブレーカーが必要です

ろう電ブレーカーが取り付けられた電源を使用してください。
感電や火災の原因になります。

実　施

殺虫剤、芳香剤の使用禁止

使用中は殺虫剤、芳香剤、蚊取り線香は使用しないでください。
故障の原因になります。

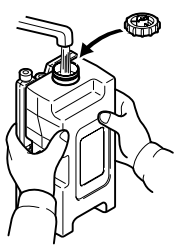
禁　止

⚠ 注　意

給排水一体タンクの水は毎日新しい水と入れ替える

- 給排水一体タンクは定期的に振り洗いをし、常に清潔にし、必ず水道水を入れてください。
  お手入れせずに使い続けると、汚れや水あかで性能が低下したり、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。
- 排水側タンクの水は、給水ごとに捨ててください。排出後は水でゆすいでください。

※ 排水側タンクの水を捨てるときは、シンクの酸化（錆）を防ぐため水道水を流しながら捨ててください。



実　施

⚠ 注　意

装置の上に水を入れた容器を置かない
故障の原因になります。

運転中はお手入れをしない
運転中は、お手入れをしないでください。
感電やけがの原因になります。

吹出口をふさがない
吹出口をカーテンやタオルなどでふさがないでください。
故障の原因になります。

お手入れ後は部品を確実に取り付ける
給排水一体タンク、フィルターなどの部品をはずしたまま使用しないでください。
故障の原因になります。

電源プラグを持って抜き差しをする
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電・ショート・発火の原因になります。

装置の上に物をのせない 装置の上にのらない
故障・転倒の原因になります。

給水タンクの横キャップはしっかりと締める
緩んだまま本体に取り付けると水漏れの原因になります。

装置は室内に置き、5℃から35℃の環境で使用する
とくに寒いところでは、電源スイッチを入れても、運転しないことがあります。

本装置は有害なガスや物質を分解・除去することはできません 窓を開けるなど室内の換気をしてください
狭い部屋などで、長時間使用する場合は、適宜窓を開けて換気してください。

湿気やホコリ、煙などの少ない場所で使用する
油の煙（調理時に発生する油の粒子）のない場所を選んで使用してください。
臭いの発生や故障の原因になります。

給排水一体タンクから落下した水滴は拭き取ってください。
電解水は、漂白作用があるため水滴が落ちると絨毯（じゅうたん）など色物を変色させる恐れがあります。

高所は避け、平らで安定したところに置く
装置を正常に作動させるために守ってください。地震や、人が触れて転倒する原因になります。

装置の左･右面に10cm以上の間隔をとる
装置の上･前面は100cm以上の間隔をあけてください。
故障の原因になります。

水滴のかかる場所等には置かない
故障の原因になります。

排水タンクのキャップは緩めないでください。水漏れにつながる可能性があります。

塩水タンクは触らないでください。食塩水の補給はサービスエンジニアが行います。

移設するとき、保管するとき（長期間使わないとき）は、水抜きと除菌エレメントの乾燥を行ってください

フィルターをはずして使用しない
装置内部へのホコリづまりによる故障の原因になります。

高捕集フィルターは水洗いしないでください。縮んだり変形する恐れがあります。

お願い

必ず水道水（飲用）を使用
井戸水、浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、海水などは絶対に使わないでください。
電解水の生成ができなくなるため、正常に機能しません。

ご使用する設置環境により電解条件の設定変更が必要です

一時的に使用しない場合でも電源プラグを抜かない
停止時にも、機器内部のクリーニングを自動で行いますので、給水タンクの水があることを確認し、電源プラグを抜かないでください。

お手入れは定期的に行う
「お手入れのしかた」にしたがってお手入れをしてください。
汚れがひどくなると、カビの発生、悪臭の原因になります。

壁や家具に風を直接当てない
吹出口の風が、壁や家具に直接あたらないようにしてください。
壁・家具がいたんだりする原因になることがあります。

凍結に注意
凍結しますと、故障の原因になります。5℃以下の環境では使用できません。

特長

●電解水で空気を清浄

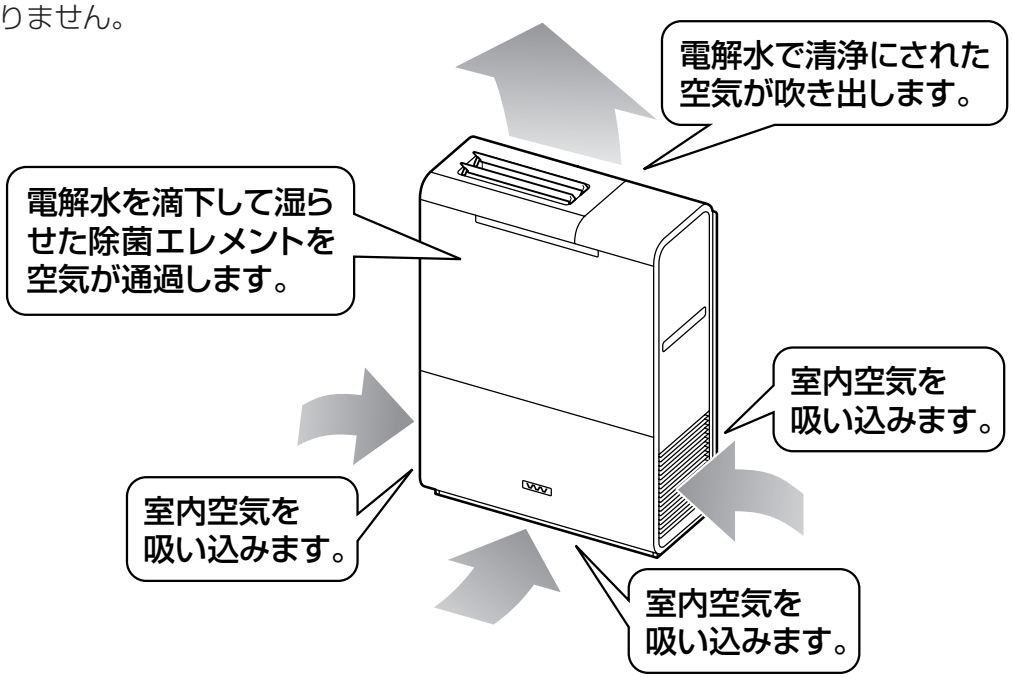
- 電解水と除菌エレメントの組合せにより、空気中に浮遊するウイルスや菌の抑制が可能な「virus washer（ウイルスウォッシャー）」機能を搭載しています。

●電解水とは

- **水道水**を電気分解すると除菌効果を持つ「電解次亜塩素酸」を含んだ電解水となります。この除菌効果を用いることにより、空気中に浮遊するウイルスや菌を抑制します。

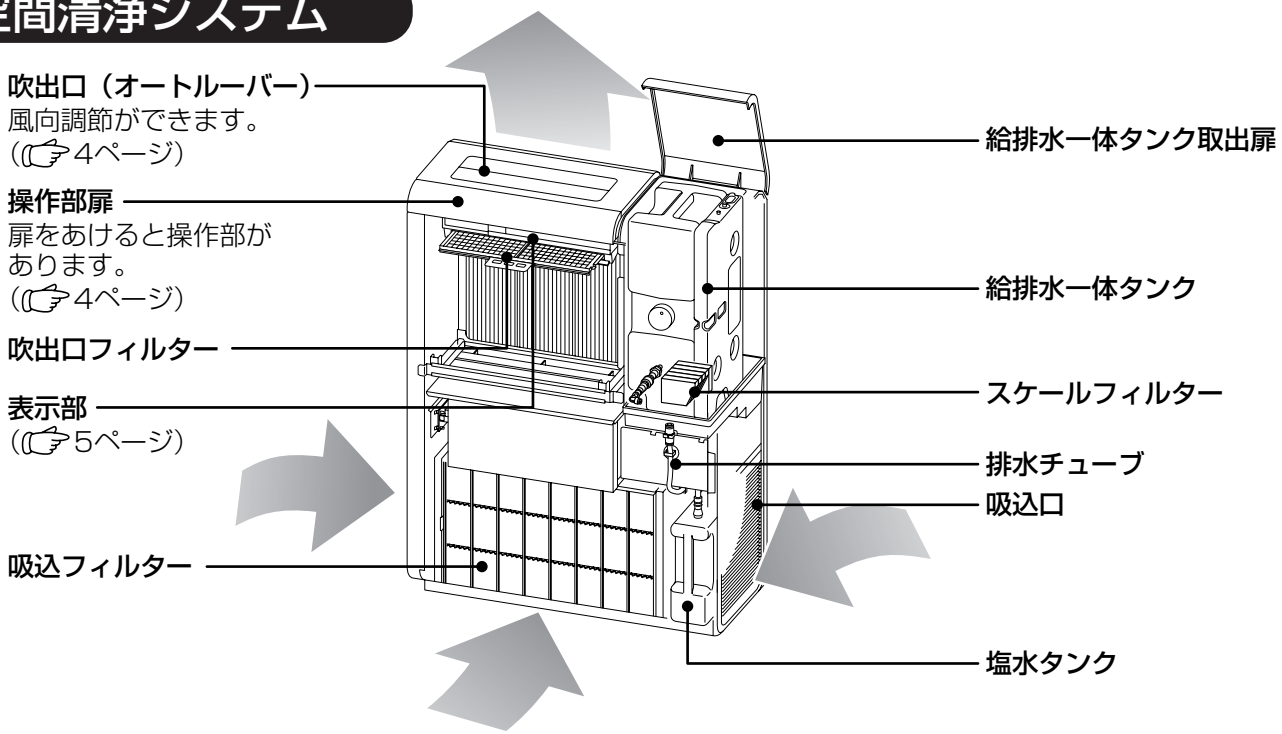
⚠ 注 意

- 本製品は空気中に浮遊するウイルスを抑制する機能はありますが、ウイルスによる感染を防止したり治療するものではありません。



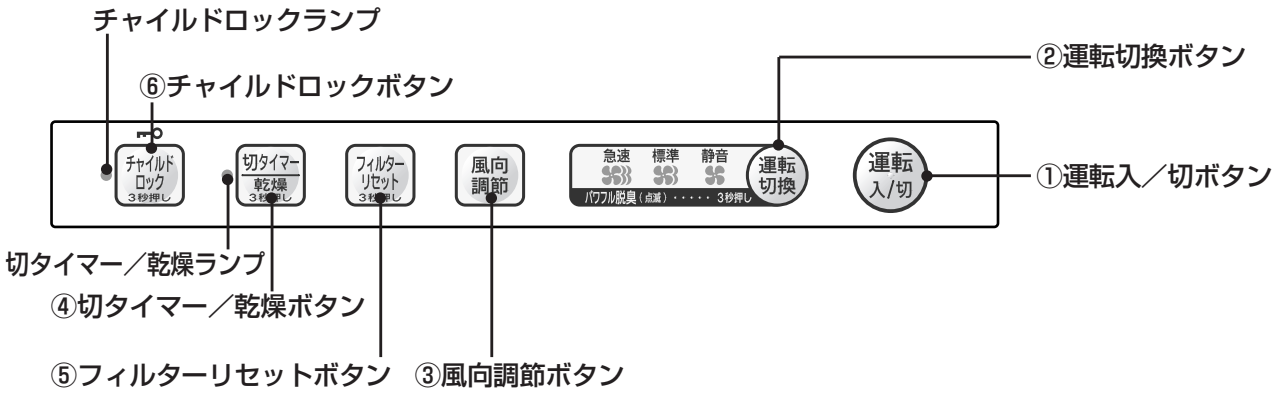
各部のなまえとはたらき

空間清浄システム



各部のなまえとはたらき

本体ユニット操作部のなまえとはたらき



① 運転 入/切

運転：ボタンを押すと運転ランプが点滅して運転準備を3分間行います。その後、運転ランプが点灯に変わって運転を開始します。
停止：運転中にボタンを押すと停止します。

② 運転 切換

このボタンを押すごとに、風速が切り替わります。ボタンを3秒長押しするとパワフル脱臭運転に切り替わります。（☞ 9ページ）

③ 風向 調節

このボタンを押すとルーバーがスイングします。お好みの位置に設定することもできます。

④ 切タイマー 乾燥 3秒押し

このボタンを押すと切タイマー運転に入ります。（☞ 10ページ）
停止中にこのボタンを3秒長押しすると除菌エレメントの乾燥運転を行います。（☞ 14ページ）

⑤ フィルターリセット 3秒押し

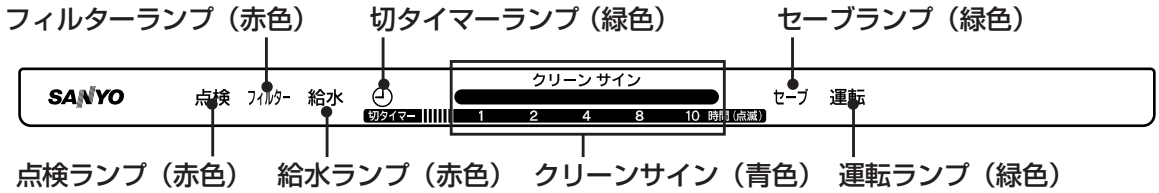
このボタンを3秒長押しすることによりフィルターランプを消灯します。

⑥ チャイルドロック 3秒押し

このボタンを3秒長押しするとロックがかかり、ボタン操作を受けつけなくなります。但し、停止は受けつけます。チャイルドロックを解除するには、このボタンを3秒長押ししてください。

各部のなまえとはたらき

本体ユニット正面表示部のなまえと表示ランプの表示



●表示ランプの表示（「－」印は、消灯サインです。）

運転ランプの状態						お知らせ内容
点検（赤）	フィルター（赤）	給水（赤）	切タイマー（緑）	セーブ（緑）	運転（緑）	
－	－	－	－	－	点灯	運転中です。
－	－	－	－	－	点滅	運転準備中、またはクリーニング運転中です。（☞11 ページ）
－	－	－	－	点灯	点灯	セーブ運転中です。（☞10 ページ）
－	－	－	点灯	－	点灯	切タイマー運転中です。（☞10 ページ）
－	－	点灯	－	－	点灯	給水タンクへの給水が必要です。（☞7 ページ）
－	点灯	－	－	－	点灯	吸込フィルター、吹出口フィルターのお掃除が必要です。（☞13 ページ）
－	点滅	－	－	－	－	除菌エレメントの交換時期です。メンテナンス契約先にご連絡ください。（☞16 ページ）
点灯	－	－	－	－	点灯	電解槽の交換時期です。メンテナンス契約先にご連絡ください。（☞16 ページ）
点滅	－	－	－	－	点灯	エラーです。メンテナンス契約先にご連絡ください。（☞15 ページ）
－	－	－	－	点滅	点灯	凍結防止警報が作動中です。お部屋の空気を 5℃以上に保ってください。

●クリーンサインの表示

運転中に、お部屋の空気の清浄運転の状態を表示します。

表示ランプの状態	お部屋の空気※
	清浄し始めました。
○	1 回清浄しました。
○ ○	2 回清浄しました。
○ ○ ○	3 回清浄しました。
○ ○ ○ ○	4 回清浄しました。
○ ○ ○ ○ ○	5 回清浄しました。

○：点灯

※お部屋は床面積100m^2、天井高さ3mをめやすとします。

ご使用上の注意点

メンテナンス

ウイルスの抑制・除菌・脱臭の効果を持続させるためには、定期的なメンテナンス、部品交換が必要です。当社のサービスエンジニアによる定期的なメンテナンスを必ずお受けください。メンテナンス契約（有料）のご相談については、当社サービス拠点（別紙）またはカスタマセンター商品相談窓口（表紙）へお願いいたします。

クリーニング運転

機器内部を定期的に自動クリーニングを行いますので、必ず以下のことを実施してください。
※ユニットの電源プラグはコンセントから抜かないでください。

塩素の臭い

初めてお使いになる場合や運転開始時に（消毒の）においがする場合があります。これは、電解水が空気中の浮遊物や臭気などを分解しているためです。

長期間ご使用しない場合

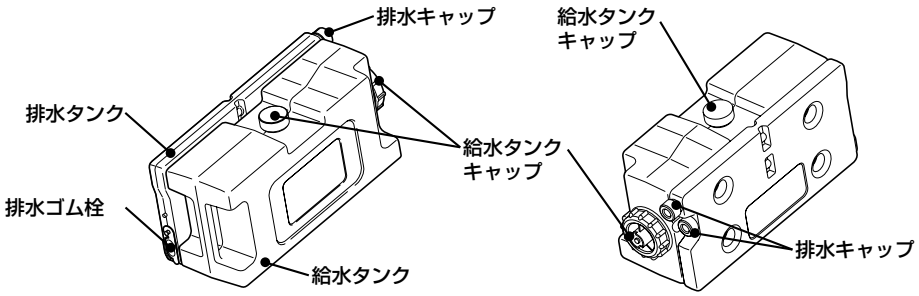
長期間ご使用しない場合、水抜き／乾燥を行ってください。水抜き／乾燥の手順は14ページをご参照ください。

製品を移動する場合

製品を移動する場合は、水抜きを行ってください。水抜きの手順は14ページをご参照ください。

給排水一体タンク

各部の名称



取り扱いの注意

※給水タンクのキャップは下側、横側ともしっかり締めてください。緩んだまま本体に取り付けると水漏れの原因になります。

- タンクを製品から出し入れするときは、ゆっくりと行ってください。
- タンクを本体から取り出すときは、タンク下面のキャップから水が垂れることがありますので、よく水が切れたことを確認してから取り出してください。
- 電解水は、漂白作用があるため水滴が落ちると絨毯（じゅうたん）など色物を変色させる恐れがあります。床に落ちた水滴は拭き取ってください。
- 排水タンクの排水キャップは絶対に緩めないでください。水漏れの原因になります。
- 給水側タンクの水は常に新しい水道水と入れ替え、清潔にしてお使いください。
- 水を入れ替えずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になることがあります。
- 給排水一体タンクの出し入れ時にゴミ・異物等入らないように十分注意してください。

お願い

必ず水道水（飲用）をご使用ください。

- 井戸水、浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、海水などは絶対に使わないでください。電解水ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。
- 温水（40℃以上）、化学薬品、汚れた水、芳香剤や洗剤を含んだ水も絶対に使わないでください。除菌ができなくなったり、本体の変形や故障の原因になります。
- キャップは確実にしめ、水がもれていないことを確認してください。
- 水が入ったタンクを本体にセットするときは、静かにセットしてください。給排水タンク取出扉、電解水トレーが破損する原因になります。

給水ランプが点灯した場合、電解水ができなくなりますので、水道水を給水してください。

- 給水ランプが点灯しなくても給水をしていただくことができます。

使う前の準備

本製品は必ずサービスエンジニアによる試運転を行ってください。試運転を行わないと本製品を運転することはできません。（点検ランプが点滅し、クリーンサイン左端ランプが点灯します。）

設置場所のご確認

次の場所では使用しない

カーテンの近くやふとんの上
吹出口や吸込口がふさがれ故障の原因になります。

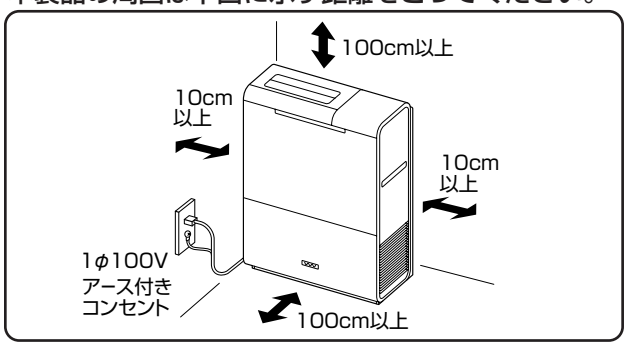
高いところ、傾いた場所、不安定な場所
地震や、人が触れて転倒する原因になります。
傾いた場所に設置すると、水位検知装置が作動して給水ランプが点灯し運転が停止したり、水もれの原因になります。

設置に適さない場所
- 空気の清浄度が決められている場所（手術室・治療室・検査室・ICU等）
- 食品加工工場や密閉空間など高湿度になる場所
- 調理場などの油や煙の発生する場所
- アロマ・芳香剤、殺虫剤、蚊取り線香などを使用する部屋

⚠ 注 意

- アースは必ず接続してください。
- ろう電ブレーカーが取り付けられた電源を使用してください。

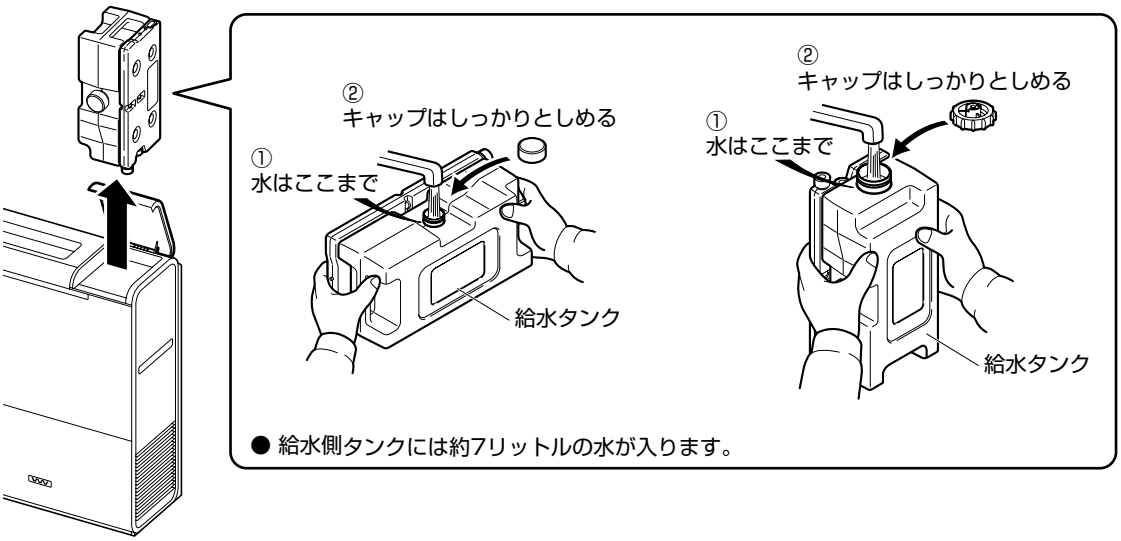
本製品の周囲は下図に示す距離をとってください。



給排水一体タンク（給水側）への給水、排水

電解水の生成に給水が必要です。
製品から給排水一体タンクを取り出し、給水側へ水を入れ製品にセットしてください。

給水のしかた



● 給水側タンクには約7リットルの水が入ります。

運転のしかた

通常運転

1.給排水一体タンクに水を入れ製品にセットします。（使う前の準備）

2.電源プラグがコンセントに差し込んであることをご確認ください。

3.運転入／切ボタンを押します。
※運転入／切ボタンを押してから3分間は運転準備（運転ランプが点滅）を行います。運転準備終了後、送風機が稼動し通常の運転を行います。（運転ランプが点灯）

4.運転切換ボタンで風量を設定します。
※風量は標準、静音、急速の順番で切り換わります。

⚠ 注 意
風速を急速でご使用になると部屋全体を除菌する時間を短くすることができます。本製品を初めてご使用する場合、風速は標準になっています。

5.風向調節ボタンでルーバーの位置を設定します。
このボタンを押すとルーバーがスイングするので、お好みの位置になったら再度ボタンを押してください。ルーバーが停止します。また次回の運転からのルーバーは設定された位置に自動的に固定されます。

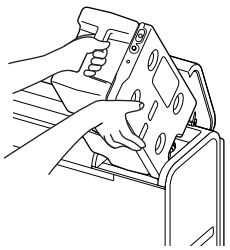
6.運転を停止する場合は、運転入／切ボタンを押します。（運転ランプが消灯します。）

給水側タンクの水がなくなると（給水ランプが点灯したら）

給水側タンクの水がなくなると、自動的に運転を停止し、給水ランプ**（点灯）**とブザーを5回鳴らしてお知らせします。

⇩

製品から給排水一体タンクを取り出してください。
※タンクを取り出すときは、図のように40～50°3秒程度傾け、水が切れたことを確認してから取り出してください。
※電解水は、漂白作用があるため水滴が落ちると絨毯（じゅうたん）など色物を変色させる恐れがあります。床に落ちた水滴は拭き取ってください。
※タンクを取り出すときに抵抗がある場合がありますが、そのまま取り出してください。

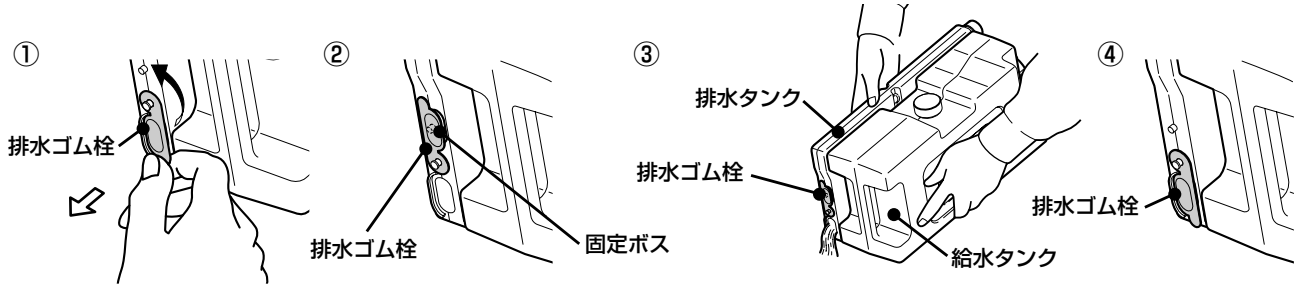


排水側タンクの水を捨ててください。

排水

製品の除菌効果を正常に保つため、給水毎に排水側タンクの水を捨ててください。
※排水はシンクの酸化（錆）を防ぐため、水を流しながら捨ててください。

①排水ゴム栓の突起部を引っ張り栓を外します。
②外した栓は排水タンクの固定ボスに取り付けます。
③排水側タンクの水を捨てます。
④外した栓を元に戻すときは、しっかりと溝に入っていることを確認してください。



給水側タンクに水道水を入れ、製品にセットしてください。運転を開始します。
※給水のしかたは使う前の準備を参照してください。（☞ 7ページ）

運転のしかた

給水間隔	
冬期	夏期
急速 ……約 6 時間ごと 標準 ……約10時間ごと 静音 ……約15時間ごと ※冬期の場合（室温20℃、湿度30%）のめやす時間です。	急速 ……約 7 時間ごと 標準 ……約12時間ごと 静音 ……約18時間ごと ※夏期の場合（室温27℃、湿度47%）のめやす時間です。

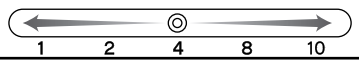
パワフル脱臭モード

広い空間をスピーディーに脱臭するモードを搭載しました

設定方法

1. 運転中に操作部の運転切換ボタンを3秒長押しします。

2. 操作部のパワフル脱臭ランプ（急速）が点滅し、パワフル脱臭運転に入ります。このときクリーンサインがライン点滅します。

クリーンサインの状態	ライン点滅
	中央から左右に向かって流れるように点滅します。

◎:点滅

※パワフル脱臭運転は40分後に自動で解除され標準風になります。
※切タイマー運転とパワフル脱臭運転を同時に行っている場合、クリーンサインはライン点滅となります。

3. パワフル脱臭運転を解除する場合は、運転切換ボタンで風速を変更してください。

運転入／切ボタンで運転を停止した場合もパワフル脱臭運転は解除されます。

切タイマー運転

お客様のお好みに応じて運転停止時間を設定することができます。

設定方法

1. 運転中に操作部の切タイマー／乾燥ボタンを押します。

2. 操作部の切タイマー／乾燥ランプおよび表示部の切タイマーランプが点滅し、切タイマー時間設定モードに入ります。

操作部　　表示部

3. もう一度切タイマー／乾燥ボタンを押すとクリーンサインの切タイマー設定時間が1つ点灯します。

4. 切タイマー／乾燥ボタンを押すたびに切タイマー時間（クリーンサイン）が1つ進んで点灯していくので、停止したい時間が点灯するまで切タイマー／乾燥ボタンを押します。

初めてタイマー時間を設定するときの表示

クリーンサインの状態	切タイマー／乾燥ボタン
1 2 4 8 10	1回押し
○ 1 2 4 8 10	2回押し
○ ○ 1 2 4 8 10	3回押し
○ ○ ○ 1 2 4 8 10	4回押し
○ ○ ○ ○ 1 2 4 8 10	5回押し
○ ○ ○ ○ ○ 1 2 4 8 10	6回押し

○:点灯

5. 約3秒後に操作部の切タイマー／乾燥ランプおよび表示部の切タイマーランプが点灯に変わり、設定した切タイマー時間（クリーンサイン）が点滅し切タイマー運転を開始します。

クリーンサインの状態	残り時間
◎ 1 2 4 8 10	0～1時間です。
○ ◎ 1 2 4 8 10	1～2時間です。
○ ○ ◎ 1 2 4 8 10	2～4時間です。
○ ○ ○ ◎ 1 2 4 8 10	4～8時間です。
○ ○ ○ ○ ◎ 1 2 4 8 10	8～10時間です。

○:点灯　◎:点滅

※切タイマー運転中でもパワフル脱臭運転を行うことができます。

6. 切タイマー運転を解除したい場合は、切タイマー／乾燥ボタンをクリーンサインが点滅なし状態になるまで押します。約3秒後に操作部と表示部の切タイマーランプが消灯し、切タイマー運転は解除されます。

7. 切タイマー運転中に運転入／切ボタンを押すと運転を停止します。

※切タイマー設定時間はメモリーされています。次回からは切タイマー／乾燥ボタンを1回押せば前日と同じ設定時間で切タイマー運転を行います。

※切タイマー運転中に給水ランプが点灯した場合は、運転を停止します。このときタイマー残り時間（クリーンサイン）は消灯し、タイマーランプのみ点灯します。（タイマー時間はカウントされています。）給水後、タイマー残り時間（クリーンサイン）が再度表示され運転を再開します。

運転のしかた

セーブ運転

お部屋の湿度が80%以上の場合、セーブ運転ランプが点灯し、風速は静音運転になります。

●セーブ運転の解除方法

セーブ運転は、お部屋の湿度が高くなりすぎるのを防ぐための目的ですが、どうしてもセーブ運転をしたくない場合には、次の手順にしたがって設定してください。

- 運転中に風向調整ボタンを5秒長押しします。ブザーが連続2回鳴り、セーブ運転は無効になります。その後セーブ運転を有効に切り替える（方法は下記）まで、セーブ運転には入りません。
- セーブ運転を有効にしたい場合は、運転中に風向調整ボタンを5秒長押しします。ブザーが1回鳴ります。
- チャイルドロック中は上記の切替変更はできませんので、チャイルドロックボタンを3秒長押しして解除してください。

運転積算時間表示

運転積算時間をクリーンサインでお知らせします。サービスメンテナンスの目安にお使いください。

表示方法

1.運転準備中に運転積算時間を表示します。

2.運転中または停止中にフィルターリセットボタンを押したときにも運転積算時間を表示することができます。

クリーンサイン	運転積算時間
○	0～1000 時間です。
○	1001～2000 時間です。
○	2001～3000 時間です。
○	3001～4000 時間です。
○	4001～5000 時間です。

○:点灯

※運転積算時間の表示が4000時間を超えた場合、運転入／切ボタンを押したときと、給水時にブザーを10回鳴らしてメンテナンス時期が近いことをお知らせします。その際は、メンテナンス契約先へご連絡ください。

クリーニング運転

自動クリーニング運転機能

本製品は、停止しているときにも機器内部を清潔に保つため、**クリーニング運転が自動で行われます**ので運転しない場合でも**電源プラグを抜かないでください。**

給水タンクの水が1／2以上あることを確認ください。特に3日以上連続で停止される場合は、給水側タンクの水を満水にしてください。なお給水ランプが点灯した場合でも一定期間クリーニング運転を行いますが、内部の水が不足した場合には、送風機が自動で運転し内部の乾燥を行います。故障ではありません。

お手入れのしかた

お手入れは定期的に行ってください。汚れがひどくなると性能の低下や故障・においの原因になります。

⚠ 警 告

- お手入れのときは電源プラグを抜く
- 給排水一体タンク、本体、フィルターのお手入れには塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しない

お手入れの前に

必ず運転を停止して、電源プラグを抜く

⚠ 注 意

内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になることがあります。

40℃以上のお湯は使わない

変形・変色の原因になることがあります。

揮発性のもの等は使わない

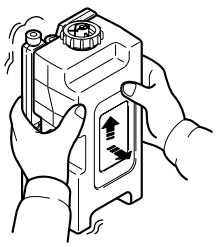
ベンジン・シンナー・アルカリ洗剤・クレンザー・磨き粉等で拭いたり、市販の液状殺虫剤などをかけないでください。変形・変色の原因になります。また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きにしたがってください。

本体のお手入れ（汚れたら）

- 水に浸した柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、固くしぼってから汚れを拭きとった後、水拭きをしてください。

給排水一体タンクのお手入れ（毎日）

給排水タンクに少量の水を入れ、キャップをしめて振り洗いをし、常に清潔にしてください。
給水は必ず水道水（飲用）を使用してください。
排水側タンクの水を捨てた後、水道水を排水側タンクに入れてすすいでください。



お手入れのしかた

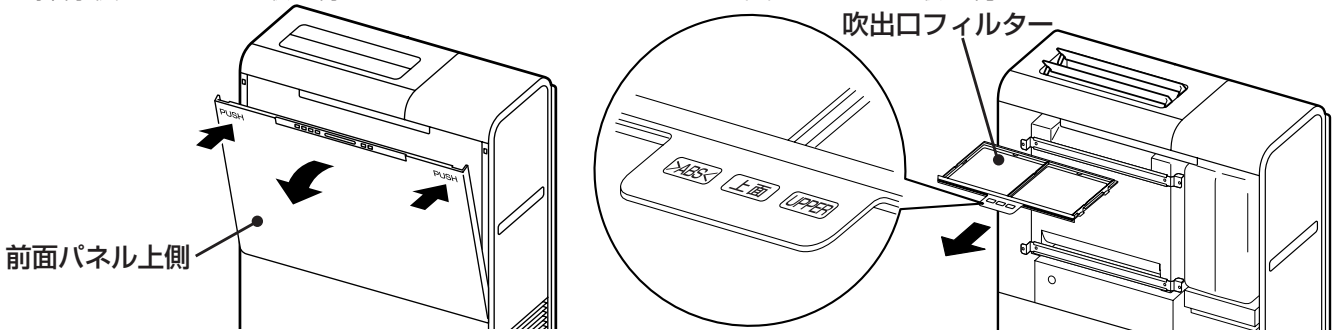
吹出口フィルター、吸込フィルターのお手入れ（汚れが目立ってきたら、フィルターランプが点灯したら）

■パネルの開け方

前面パネルを開けるときは上側、下側とも上部両サイドの“PUSH”箇所を押してパネルを傾けてから、下部の両サイドのツメ部を抜いてください。

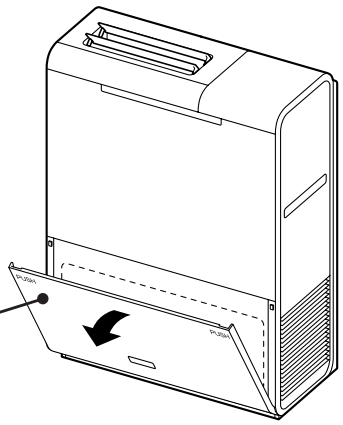
● 吹出口フィルター

前面パネル上側を開けて、吹出口フィルターを取り出してください。
掃除機でほこりを取り除いてください。フィルターの上面を上にして取り付けてください。



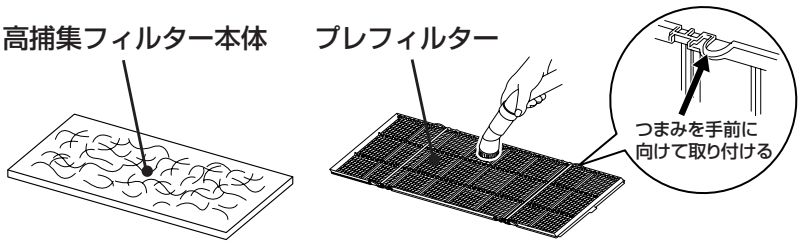
● プレフィルターと高捕集フィルター

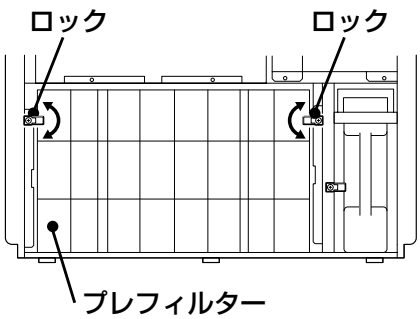
前面パネル下側をはずしてください。
左右のロックを回して、2つの吸込フィルターを取り出します。
掃除機でほこりを取り除いてください。
プレフィルターは、水洗いをすることもできます。水洗いしたときは日陰でよく乾かしてください。
高捕集フィルター本体は「ファン側」と記された面を本体側（ファン）に向けて設置してください。



⚠ 注 意

- 高捕集フィルター本体の取付が逆になりますと空気の吸込みが悪くなり、吹出し風量が低下したり音が大きくなる可能性があります。
- 高捕集フィルターは水洗いしないでください。
縮んだり変形する恐れがあります。





- フィルターをお掃除の後、所定の位置に戻してから、リセットボタンを3秒長押ししてください。
フィルターランプが消灯します。

お願い

フィルターをはずしたまま使用しないでください。故障の原因になります。

保管（長期間使用しないとき）

長期間使用しないとき

水抜き、乾燥を行ってください。（☞ 14ページ）

水抜き／乾燥の手順

機器を移設する場合や、長期間使用せずに保管する場合に、水抜き、乾燥を行います。

1. 乾燥時の風速を設定します。運転モードを急速で運転した後に、運転入／切ボタンを押して運転を停止させてください。

⇩

2. 給排水一体タンクを取り出し、水を捨てます。（給水側、排水側両方）

⇩

3. スケールフィルターを取り出しよく水を切ります。

⇩

4. 前面パネルを取り外します。

⇩

5. バケツを用意し、排水チューブの栓を抜きバケツで受けます。

※栓を抜くときは、ジョイント根元のストッパーの両側を押しながら栓を引き抜いてください。

※ストッパーを押さずに引き抜きますと、栓が噛み込んで抜けなくなることがあります。

⇩

6. 水を抜きながら切タイマー／乾燥ボタンを3秒長押しします。

⇩

7. 乾燥運転に入ります。（運転モードは、「急速」となります。）

クリーンサインが点滅します。

⇩

8. 約2時間放置してください。

※標準モードで乾燥させるときは約4時間、静音モードで乾燥させるときは約8時間放置してください。

⇩

9. 切タイマー／乾燥ボタンを押して停止してください。

クリーンサインが消灯します。

⇩

10. 排水チューブの栓を取り付け元の位置に戻します。

バケツの水は捨ててください。

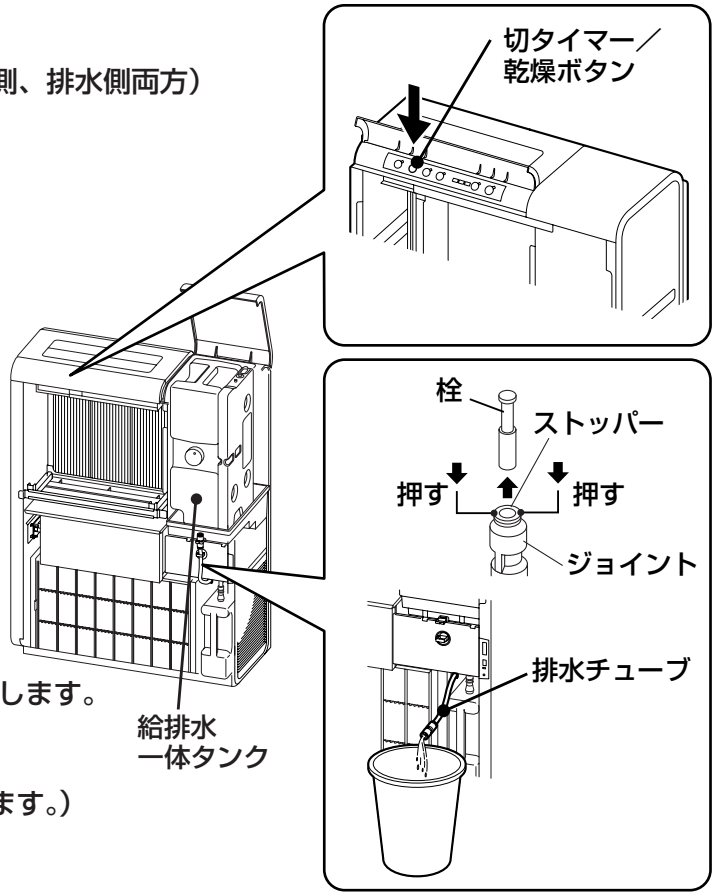
※排水チューブの栓は、奥まで確実に差し込んでください。差し込みが浅いと水漏れの原因になります。

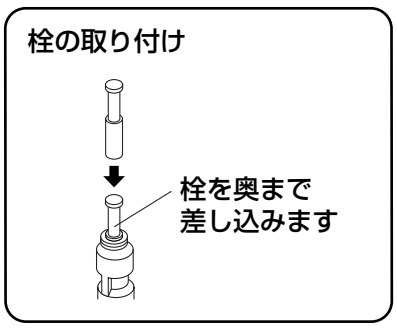
⇩

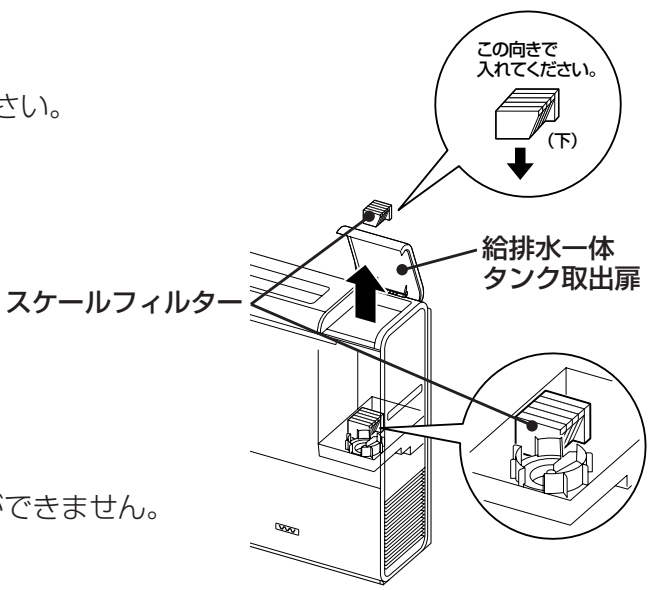
11. 給排水一体タンク、スケールフィルターを戻し、前面パネルを取り付けます。

⇩

12. 電源プラグを抜いて移動または保管してください。







⚠ 注 意

- 給排水一体タンクをセットしたままでは、内部の水抜きができません。必ず給排水一体タンクを取り出してください。

故障かな？と思ったら

1. 次の状態は故障ではありません

修理を依頼される前に、次のことをもう一度お調べください。それでもなおらない場合は、お買いあげの販売店または、もよりの「カスタマセンター商品相談窓口」（表紙）へご連絡ください。

症　　状	原　　因	処　置　方　法
運転入／切ボタンを押してもすべてのランプが点灯しない	電源プラグがはずれていませんか	電源プラグを根元まで確実に差し込み、運転入／切ボタンを入れてください ☞4ページ
給水ランプが点灯している	給水タンクに水が入っていない	給水タンクに水道水を入れ、運転入／切ボタンを入れなおしてください ☞4、7ページ
給水タンクに水が入っているのに給水ランプが点灯している	運転入／切ボタンを入れなおしましたか	運転入／切ボタンを入れなおしてください ☞4ページ
吹出口からの送風がにおう	古い水を使用していませんか	水抜き作業を行って機器内部の水を交換してください 吸込フィルターを掃除してください
	フィルターや電解水トレーが汚れていませんか	
初めてお使いになる場合や運転開始時に塩素（消毒）のにおいがする	電解水が浮遊物や臭気を分解しているためです	水抜き作業を行って機器内部の水を交換してください どうしても塩素（消毒）臭が気になるときは、メンテナンス契約先または弊社サービス拠点にご連絡ください。
「ポコ」「ポコ」音がする	給水タンクから給水する音です	故障ではありませんのでそのままご使用してください
「ブーン」音がする	ファンが回る音です	
給水後5分程度で「ブー」音がする	塩水ポンプが食塩水を入れる音です	故障ではありませんのでそのままご使用してください
風がまったく出ない※	運転入／切ボタンを入れ3分経過しましたか	約3分経過後、送風されます
セーブランプが点灯している（送風が減少する）	部屋の湿度が80%以上になっていませんか	湿度が70%以下にさがると、もとの風速に戻ります セーブ運転を無効にする場合は、設定を変更してください ☞11ページ
フィルターランプが点滅する	除菌エレメントが交換時期を過ぎてませんか	毎年交換が必要です。メンテナンス契約先に依頼してください
停止中に動作する	給水ランプが3日以上続くと、自動で乾燥運転を行います	3日以上連続で停止する場合は、給排水一体タンクを満水にしてください ☞11ページ

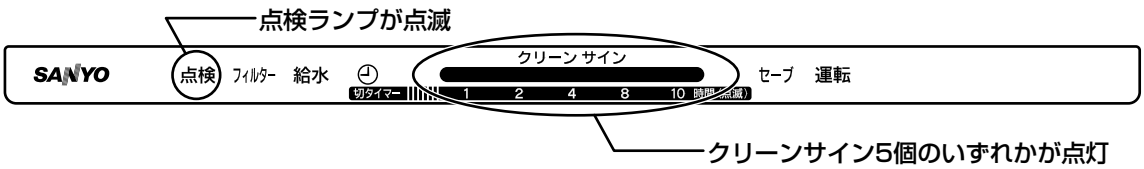
※運転入／停止ボタンを入れ3分経過しても、風がまったく出ない場合は、お買いあげの販売店にご連絡ください。

⚠ 警 告　分解修理・改造の禁止

● 分解修理・改造はしないでください。**火災・感電・けがの原因になります。**

2. エラーのお知らせ

表示部の点検ランプが点滅でお知らせします。
修理については、ご契約のメンテナンス会社あるいは弊社サービス拠点（別紙）にご連絡ください。
※修理のご依頼時に、点検ランプが点滅していることと、クリーンサインの点灯箇所をお知らせください。



点検ランプ	クリーンサイン表示	警報内容
点滅	○ 1 2 4 8 10 時間	J04（塩なし警報）
点滅	○ 1 2 4 8 10 時間	J10（電解水温度異常）
点滅	○ 1 2 4 8 10 時間	J11（導電率異常）
点滅	○ 1 2 4 8 10 時間	J12（電解電流異常）
点滅	○ 1 2 4 8 10 時間	F警報（センサー類異常）
点滅	1 2 4 8 10 時間	※クリーンサイン点灯なし 上記以外の警報

○:点灯

保証とアフターサービスについて(必ずお読みください)

サービスメンテナンス契約が必須です

お客さまが行う通常のお手入れとは別に専門のサービスエンジニアによる定期的な点検が必要です。
サービスメンテナンス契約につきましては当社サービス拠点（別紙）またはカスタマセンター商品相談窓口（表紙）にお問合わせください。

保証書について

この製品には保証書が付いています。所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ保存してください。

保証期間はお買いあげの日より1年間です。

- 保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎてからの修理については、お買いあげの販売店、または最寄の「お客様ご相談窓口」（別紙）にご相談ください。お客さまの希望により有料修理いたします。

この取扱説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障・事故は補償いたしません。

補修用性能部品の保有期間について

空間清浄システムの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後、9年です。

- 補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご相談や修理は

●修理や部品に関するご相談は、お買いあげの販売店、または表紙の**カスタマセンター商品相談窓口**にご依頼ください。

●故障修理を依頼されるときは

次の事項をご連絡ください
①故障の状況
②品番（VW-SF10C）
③製造番号（後部上面のラベルに記入してあります）
④お買いあげ年月日
⑤おなまえ、おところ、電話番号

お客様ご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客様ご相談窓口でお受けした、お客さまのおところ、おなまえ、電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

＜利用目的＞

- お客様ご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://jp.sanyo.comをご覧ください。

仕様

品　　番		VW-SF10C
電　　源		単相　100V　50／60Hz
外形寸法	mm	H790×W580×D297
製品質量	kg	33
運転重量	kg	42（給水／塩水タンク満水時）
外 装 色 （マンセル記号）		正面パネル：ホワイト（N8.5） サイドパネル：グレー（N4.0）
風　　量	m^3／min	急速10　標準5　静音2
運 転 音	dB(A)	急速49　標準35　静音29
消費電力	W	急速118　標準57　静音46
適用床面積（めやす）	m^2	100
使用温度範囲		5～35℃

※1　運転音は無響室で測定したもので、機器正面1m、高さ1mの値です。実際に据え付けますと、周囲の騒音や反響などにより表示値より大きくなる傾向になります。

※2　パワフル脱臭モード時の消費電力・電流値・定格風量・運転音は、急速モード時の数値と同じになります。

メモ

お客さまメモ

お買いあげの際に記入しておきますと、修理などを依頼される時便利です。

品番	
据付年月日	年　月　日
お買いあげ販売店名	電話番号　（　）

85464609029001